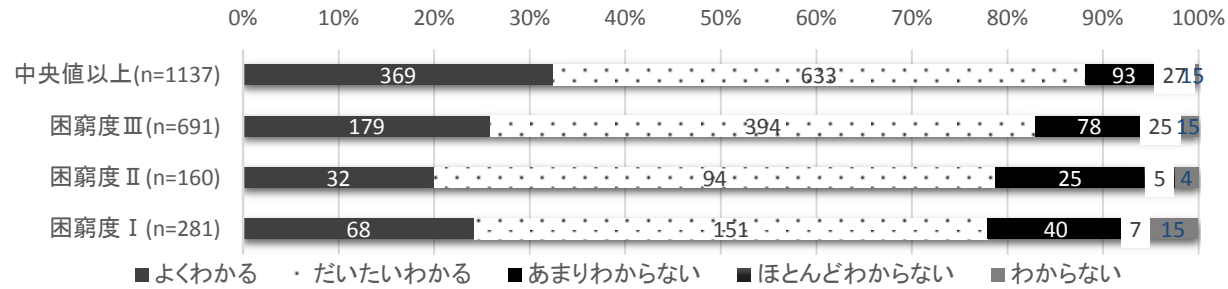


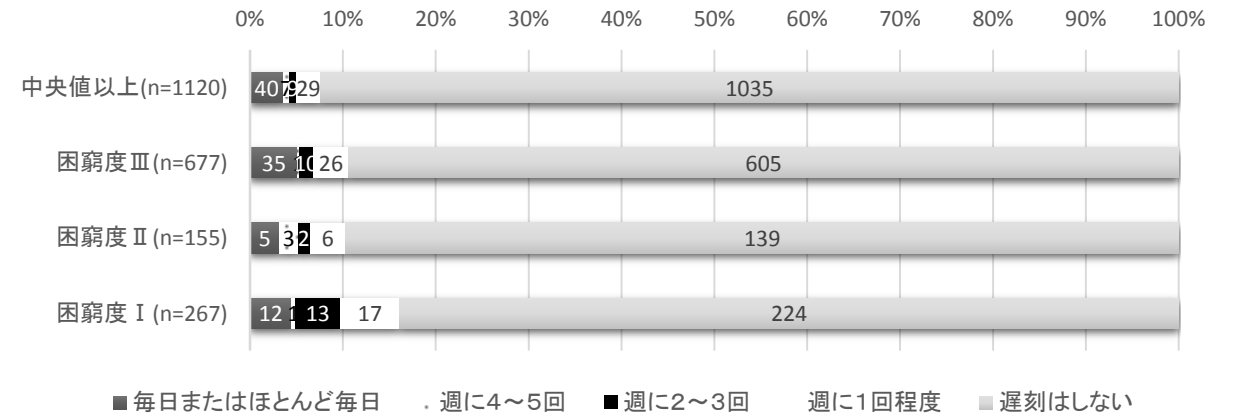
## 4. 子どもの教育に関すること

### ■ 調査結果（単純集計・クロス集計）から分かったこと

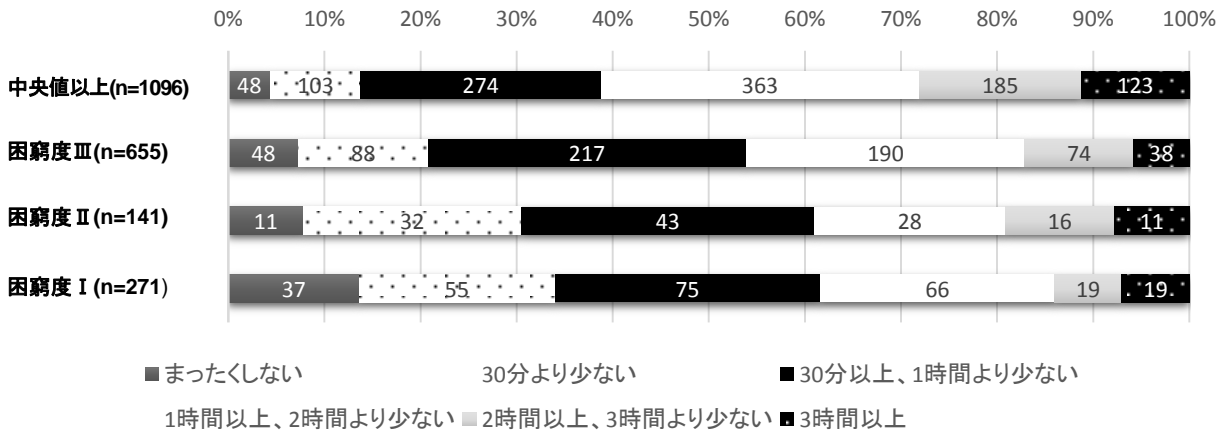
#### ◇ 困窮世帯ほど学習理解度について「よくわかる」「だいたいわかる」の割合が少ない



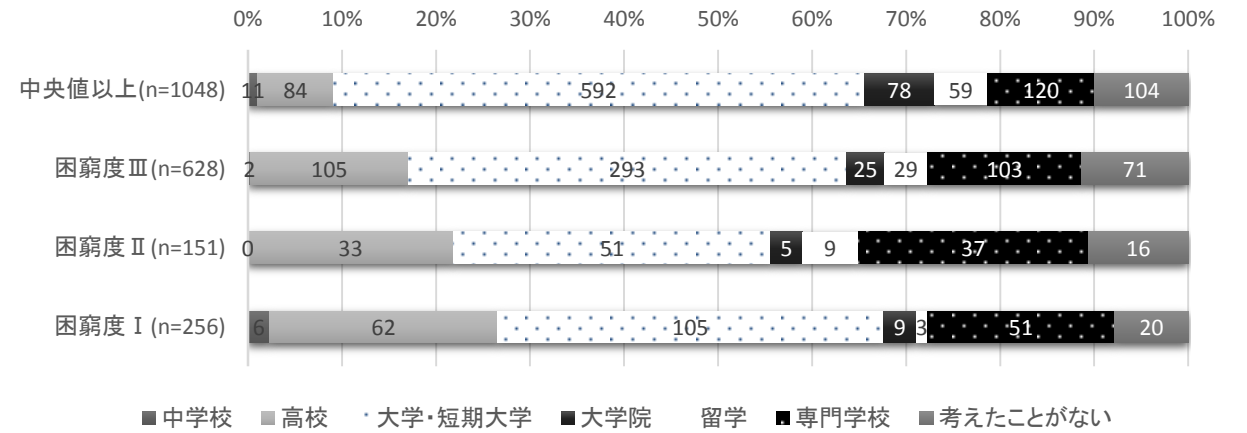
#### ◇ 困窮世帯ほど遅刻する割合が多い



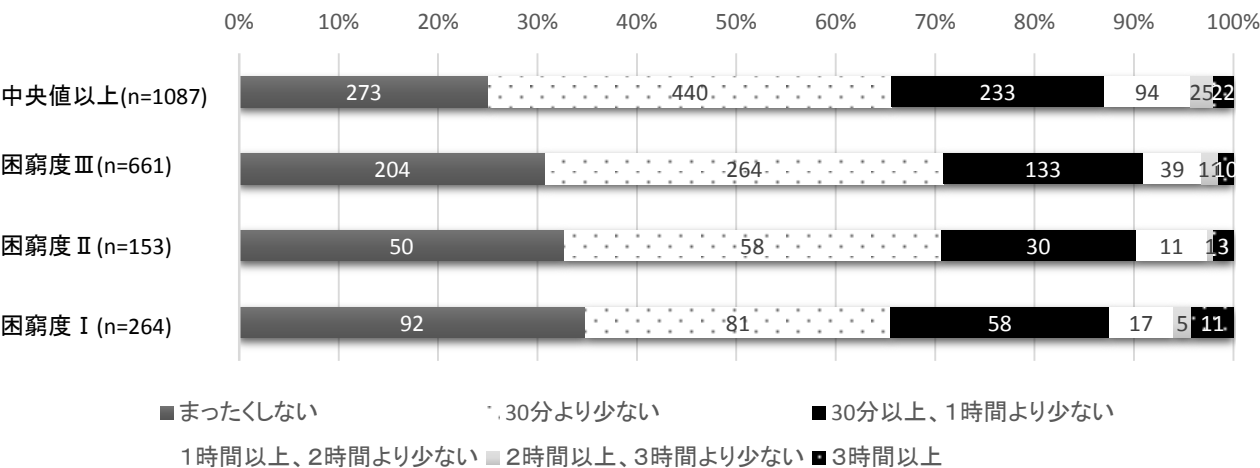
#### ◇ 困窮世帯ほど授業時間以外の勉強時間について「まったくしない」の割合が多い



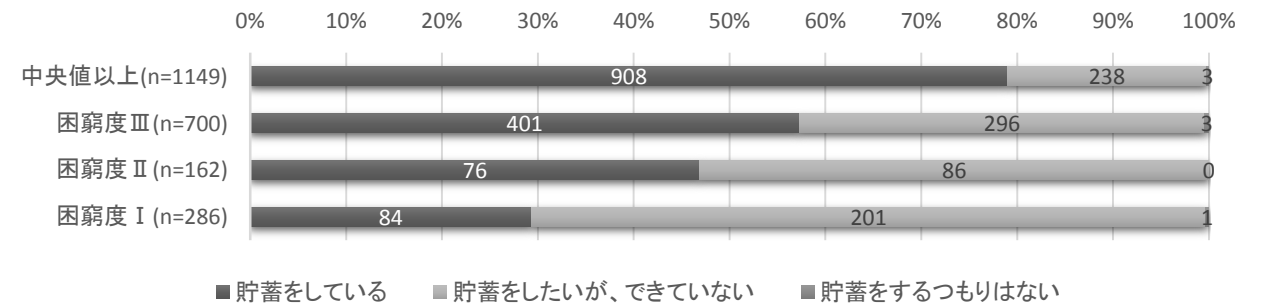
#### ◇ 子どもの進学希望について、困窮世帯ほど「大学・短大・大学院」の割合は少ない



#### ◇ 授業時間以外の読書について、困窮世帯ほど「まったくしない」の割合が多い

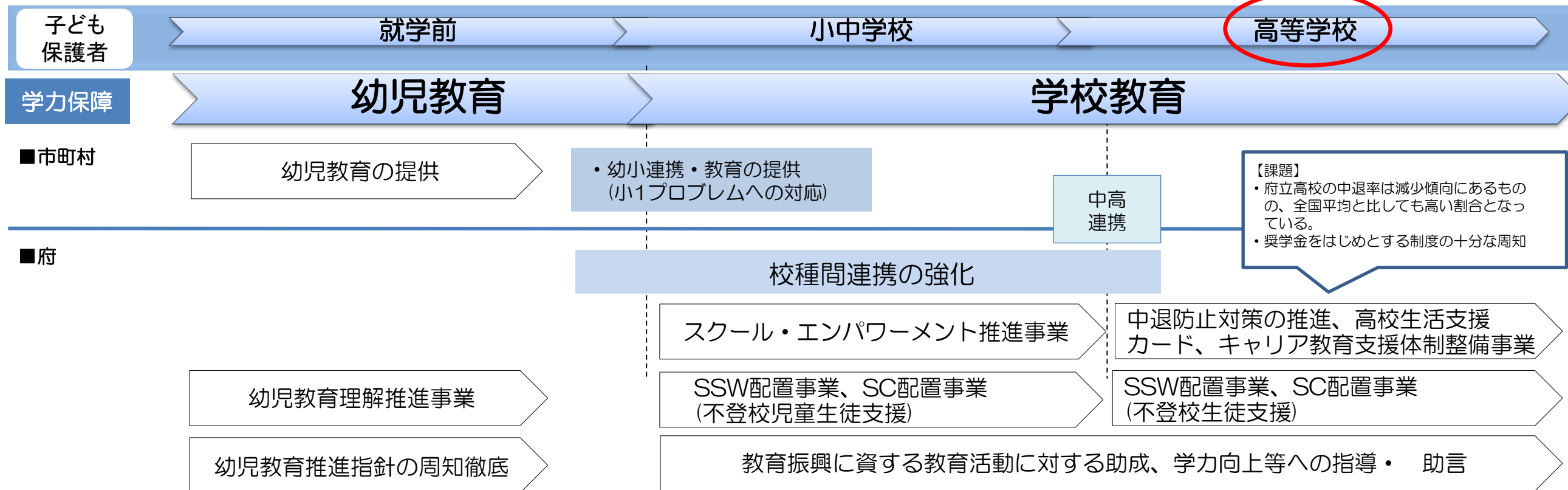


#### ◇ 困窮世帯ほど子どもの将来のための貯蓄ができていない



■現行の取組み

- 学力保障では、校種間の連携等を通じ、就学前から高等学校まで切れ目ない支援を実施。学力向上等に資する各施策に取り組むとともに、SSWやSCなどの福祉的人材の配置等を通じ、子どもが抱える課題の早期発見に取り組んでいる。
- 進学・就学継続への経済的支援では、主に奨学金の給付や制度の周知に取り組んでいる。



放課後等の学習支援

- ひとり親家庭等生活向上事業（子どもの生活・学習支援事業）、新子育て支援交付金子どもの貧困対策事業、生活困窮者自立支援事業 学習支援事業
- 教育コミュニティづくり推進事業

進学・就学継続への経済的支援



■現行の取組みにおける課題・今後の対応の方向性

- 経済的に困窮している世帯ほど子どもの教育にかかる環境が整っておらず、子どもの学習や進学希望があるので、子どもたちが安心して教育を受けられるような環境が必要。
- \* 進学選択が可能となるように、奨学金制度等の周知・利用促進を引続き行うとともに、就学が継続できるよう経済的支援を行う。
- \* 中退防止対策として、作成した事例集の活用を図るとともに、効果的な取組みについてフォーラムを通じて府立高校に全体化する等、中退防止の取組みを進める。
- \* 放課後における学習支援の機会の提供の充実を図る。